

会 議 録

内容承認	公開・非	開催日	< 傍聴人数 > 0 名 < 傍聴室 > 第 1 委員会室																												
松村副委員長	公開の別	平成 22 年 1 1 月 1 1 日(木)																													
承認	公開	< 時 間 > 1 5 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0 < 場 所 > 新館 4 階 第 1 委員会室																													
< 名称 > 平成 2 2 年度第 8 回岸和田市自治基本条例推進委員会（第 2 期）																															
< 出席者 > （自治基本条例推進委員会委員出欠状況）○は出席、■は欠席 <table><tr><td>松村</td><td>白石</td><td>西出</td><td>木下</td><td>植田</td><td>山原</td><td>雨田</td><td>薮</td><td>稲富</td><td>神谷</td><td>野</td><td>次井</td><td>中村</td><td>橋本</td></tr><tr><td>○</td><td>■</td><td>■</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>■</td><td>■</td><td>○</td><td>○</td><td>■</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table> 事務局）企画課：西川部長、梶野課長、佐野担当長、池内（克）、陣川				松村	白石	西出	木下	植田	山原	雨田	薮	稲富	神谷	野	次井	中村	橋本	○	■	■	○	○	○	■	■	○	○	■	○	○	○
松村	白石	西出	木下	植田	山原	雨田	薮	稲富	神谷	野	次井	中村	橋本																		
○	■	■	○	○	○	■	■	○	○	■	○	○	○																		
< 議題 > ・ 建議について ・ 条例フォーラムについて ・ その他																															
建議について （副委員長） 建議の最終確認をしてほしい。 （事務局） 建議書について前回の推進委員会以降の修正箇所を見てもらいたい。 （副委員長） 何か意見のある方は、発言願いたい。 （全委員） 了 承 （副委員長） 今回の委員会をもって第 2 期の推進委員会が終了するので、委員の皆様の 2 年間の感想をいただきたい。 （委員） 最初は、難しく感じたが、先輩たちやいろんな人たちに意見を聞いて理解が深まった。これから一市民として自治基本条例は大事なものである周りの人たちに伝えていきたい。 （委員） 自治基本条例に関して多く勉強し、常に一市民として考えてきたつもりである。今後は、市民がどのように主体性をもって行っていくのが問題である。 （委員） 策定から第 1 期・2 期を合わせると 6 年間ぐらい携わっている。自分のやってきたことが市民や市職員に伝わるように行ってきた。今後の推進委員会というのは、形は変わるかもしれないが、市民参加でお願いしたい。																															

(委員)

私自身の発言がお聞き苦しいことが多くあったと思う。しかし、私の発言が市民として市民感覚で話をしているのに、なかなか受け入れてもらえなかった感じがする。そういったことが非常に残念である。もう少し開かれた委員会にしていかなければいけないと考える。ただ自治基本条例の策定には満足している。

(委員)

私も策定から6年間携わった。いろいろ意見を言わせていただいた。社会のルール作りに参加できてよかったと思う。若い人に参加してもらえなかったことや一部の団体代表者に全く参加がなかったことが残念である。自治基本条例はいい形のものが出来上がり、うれしく思う。

(委員)

委員会に参加して半年弱、当初は困惑したが、地域で活動しているみんなの顔を思い浮かべながら条例の文言を当てはめていくと条例が少し理解できた。地域コミュニティの重要性を改めて感じた。委員の先輩たちの熱い議論を聞き、今まで経験しなかったことや知らなかったことが理解でき、よかったと思う。今後、私自身も岸和田にどのような恩返しができるかを常に考えながら地域活動を行っていきたい。

(委員)

私の仕事は、老人の方をいかに外出させるかである。皆様方の協力でいろいろ自治基本条例の勉強でき、ありがとうございました。

(委員)

市と事務局のあり方は見直す必要があると思うところもあったが、自治基本条例はそのようなことを求めているのではないということがよくわかった。ありがとうございました。

(副委員長)

私も策定委員会の途中から参加している。これほど市民委員の方が活発に議論され、少しずつ形にしていくことにすごく感心し、市民でつくっているという実感があった。第1期推進委員会は法制度をどのように体系化していくか、その中で自治基本条例の理念を近づけていくかということが中心であった。第2期推進委員会は、フォローアップも含め、具体的な運用を中心にやってきた。策定するときのエネルギーと策定後に検討や運用するときのエネルギーはまた違う。行政の実態に踏み込んで検討し、建議を行った。望ましい方向に一致していない時も多くあったが、いかに自治基本条例の理念に近づけるかが問題であり、そのためにいろいろ議論した。これで第2期の建議が完成し、よかった。今後は、市政に反映してもらい、市民の方々にはいろいろ発言していただき、チェックをしていただいて、自治基本条例をさらに活かしてもらいたい。

(副委員長)

次に条例フォーラムについて説明させていただく。

(事務局)

(ええとこやで岸和田まちづくりシナリオ案を説明)

日時は、平成22年11月21日(日)PM2:00~PM4:00、

場所は、福祉総合センター大会議室で開催する。

まず、全体的な流れは、午後2時に開会し、市長挨拶、2時5分からシンポジウム「これが、わがまち岸和田の憲法や。」をはじめ。時間は60分程度。3時5分から質疑応答。

3時10分から10分間休憩をとり、3時20分からアトラクションの旭堂南陽さんによる講談を行う。時間は約30分。

3時50分から企画調整部長の総評を行う。

3時55分シンポジウム終了。アンケート記入していただき、4時で終了となる。

次にシンポジウムのシナリオであるが、4つの場にわけている。1場の時間は約15分を想定している。

第1場の「各自己紹介と自治基本条例の概要、推進委員会の説明、建議概要」では、5人のパネラーに自己紹介をお願いする。その後、副委員長から自治基本条例の概要、推進委員会の説明、建議内容を説明していただく。

第2場「各パネラーの参画した動機と2年間を振り返ってどうだったか」では、5人のパネラーのみなさんに、推進委員会に参画した動機や2年間を振り返っての想いを語っていただく。

第3場「将来の岸和田への展望とそのために私たちがしていかなければいけないこと」では、市民・事業者・コミュニティ活動・地区市民協議会・協働・参画・情報の共有等のキーワードを設けているので、各パネラーのみなさんには、岸和田への想いや今後に向けて、行政に頼るばかりではなく、自分たちがやらなければいけないこと、又は今現在行っていることなどをお話いただきたい。

第4場「論点整理及び副委員長締め言葉」では、●●委員が論点を整理しながら説明し、最後副委員長の説明で終わる段取りである。

(委員)

質疑応答は、副委員長の話の前の方がいいのでは。質問は誰が答えるのか。

(副委員長)

質疑応答は、私の締めの言葉前に行く。質問も基本的に私が答える。

(委員)

パネリストは、参加者を惹きつけるような話をしてもらいたい。

(委員)

自治基本条例自体難しい内容なので、そのようなものがあるということわかりやすくお話をしてもらったらいいいと思う。楽しくやってもらったらいいい。

(委員)

条例のタブロイド版は、参加者に配付してもらいたい。

(委員)

テレビ岸和田は、取材にこないのか。

(事務局)

報道提供は行った。

(副委員長)

出席委員は1時に来てもらい、打合せを行う。

(フォーラム出席委員)

了 承

(副委員長)

これにて自治基本条例推進委員会を終了する。みなさん、2年間本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。